

2022年1月26日

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	レイモンドみらい園
代表者氏名（管理者）	園長 中井 良介
法人名	社会福祉法人 檸檬会
定員（利用人数）	60名（73名）
施設・事業所所在地	滋賀県大津市中央2-2-20
T E L	<b>077-524-7399</b>
F A X	<b>077-524-8399</b>
電子メール	<a href="mailto:ryousuke.n@lemonkai.or.jp">ryousuke.n@lemonkai.or.jp</a>
ホームページアドレス	<a href="http://www.lemonkai.or.jp">http://www.lemonkai.or.jp</a>

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	2022年1月20日と1月25日（オンライン調査）

## ○ 総合評価

社会福祉法人檸檬会は、全国に60を超える保育園・こども園を運営し、滋賀県内では保育園が6か所、こども園が3か所あり、保育を中心に学童保育、就労移行支援事業を通じて、「ソーシャルイノベーション」を生み出して社会貢献を果たし、より多くの方と幸せを分かち合える社会づくりを目指している。当法人は保育サービスの質向上を目指して第三者評価調査を5年ごとに受審されており、当園は設立して4年目を迎える中での受審を決定している。

当園も法人理念である全ての子どもに対し、短期的な結果を求めるのではなく、生涯消える事の無い A “生きる力”

B “3つの心” (檸檬の心)

- ① 人・命を愛する心
- ② 自然と共に生きる心
- ③ 想像(創造)する心

を育てることを基本に定め、子どもたちが沢山の温かさに満ちた愛情の中でのびのびと育ってほしいと切に願っているという園長のリーダーシップと全職員の意識統一の下、子ども達が主役になれる環境整備に全力投入し、保育の質の向上に向けて前進している保育園である。保護者アンケートで当園の保育に満足しているかとの質問では、満足しているとの回答が 100%であった。

## ○ 特に評価の高い点

### 1、育児担当制の取組について

乳児の保育には育児担当制を取り入れ、特定保育士との愛着関係を築き、一人ひとりの異なる個性やサイン、甘えなどを受け留め、子どもに寄り添った保育をし、細やか保育が行われている。丁寧な関わりを通して子どもの気持ちが育ってくるので、子どものやりたい事やできる事を見極め、見守り・待つ保育を大切にしながら、手助けが必要な時にはさりげなく行うなど実践している。

### 2、子ども中心の保育方針

遊びの環境が整えられたコーナーでの保育。子どもたちが自分で好きな遊びを選んで遊びこめるように4コーナー設置し、子どもたちの気づきと着想を大切に展開する「つながる保育」を中心にして、子ども達からの意見が保育を構成し、子どもが主体で活動する保育に取り組んでいる。放送当番については、内容を子どもたちで考えて、天気や誕生日のお知らせも放送に組み入れ、朝のラジオ体操、今月の歌など、5歳児が2人組の放送当番となって実施している。椅子を机の下に入れる行為が基本的な生活習慣として自発的に身につけているようで、テーブルで遊んだ後や食事が済むと椅子を机の下に入れる等、1歳児から5歳児まで全員が自然な形で実施出来るようになっている。

### 3、食育について

全体的な計画の中に、食育の目標が具体的に細かく表示しており、本部栄養士の支援を得て全職員で取り組んでいる。毎月の食育だよりは保護者が楽しみにしているお便りであり、給食内容に対する理解も100%という保護者アンケート結果も出ている。

給食内容は、ご飯・味噌汁・主菜・副菜の一汁二菜の和食を基本に、旬の食材を使用した手作り料理を提供している。毎月、郷土料理・行事食・誕生会等バラエティーに富み「給食が美味しい」と保護者からの声が聞かれ、人気レシピの紹介もしている。

毎月1回の給食会議では、アレルギー園児の対応・行事食の内容説明・給食室からの要望等きめ細かな情報を交換し合い、毎日安全で美味しい給食が提供できるように全職員での協力体制をとっている。

#### 4. 地域貢献について

当園は、保護者支援の一つとして日祝日保育を提供し、地域一般に向けては一時預かり、病児病後児保育を行っている。一時預かりでは、一時預かり室を用意して月平均 7.5 名を預かっている。病児保育については、専門看護師と保育士が必要であると共に、一般の保育活動と仕切りが取れていることが必要な面から滋賀県内でも施設数が少なく、今年度1月末で延べ利用者数 150 名となっており、大きな地域貢献となっている。

#### ○改善を求められる点

##### 1. 事故防止体制確立について

本年度最初の職員会議で園長から、ヒヤリハット取組について詳細な説明がされており事故防止活動の推進が求められている。報告枚数も増えてはいるが、月ごとのばらつきが顕著であるのが気になるところである。このデータを有効活用して大きな事故発生を事前に防止するため、プロジェクトチームを作成し、活動内容を高めてリスクマネジメント体制を任せる様な展開を期待したい。

##### 2. 保護者とのコミュニケーションについて

コロナ禍のため園内に入ることは制限され、保育士と関わる事が少なくならざるを得ない状況になっている。送迎時も玄関までとなっていて子どもたちの様子も分かりにくく、保育士との話合いも難しく不安感を持っている保護者もいるので、プロジェクト取組による改善が基本となろうが、保護者とのコミュニケーションをさらに深めて行うことを期待したい。

##### 3. 中長期目標策定について

これからの地域状況は、リモートワーク等いろいろの要素で変化が激しくなることが予想される。全国展開されている貴法人であることから、本部中心に各園の中長期目標設定の早期実現を期待したい。

○第三者評価結果に対する事業者のコメント

・総合的な判断は妥当であると思慮しています。

運営に関しては4年前に檸檬会へ譲渡されグループの一員となり、変化が必要な事も多々ある中で説明不足はあったと判断します。

コロナ中に於いては保護者との関係性も普段通りには行かない場合もあり、改善事項として進めていきます。保育園としての中長期計画は保育の質の向上(遊びの展開力

・創造する保育士)を上げていくと共に園児の確保をするための戦略が必要である。